

校長室通信



「阿蘇のみりよく(魅力・味力)」再発見!

9月22日(木)、7年生の一日校外学習を実施しました。この計画は当初は6月に一泊二日の日程で実施する予定でしたが、コロナ禍の現状をふまえて9月(もしくは10月)に延期していたところでした。

今回の実施に際しては、新型コロナウイルスの感染状況をふまえると共に、今後の「総合的な学習の時間」へのつながりと、合唱コンクール等の学校行事を考えたときに、9月中に日帰りで行いたいと考えました。

変更にあたっては、当初の二日間のそれぞれの中心企画は残すとともに、SDGsの視点を追加しフードロス問題について企業として取り組まれている「スーパームやらはら」さんの弁当を食べる機会を設けたことと、生徒が自由にスイーツ等も味わう体験をする場所についても、新型コロナウイルス感染症への感染対策と、交通事故等のリスクを軽減できる場所に変更しました。また、熊本県が取り組む「阿蘇世界文化遺産推進事業」からの補助金(約10万円の助成→今回のバス代金等に充当)を活用することも加味できたため、ぎっしり詰まった一日となりました。結果として当日は学校帰着が遅れてしまい、お迎えの時刻がずれたことでご迷惑をおかけしたことだと思えます。

当日の大まかな行程は下記のとおりです。

- 1 国造神社の見学と宮司さんの歴史講話
- ↓ (徒歩で移動 約5km)
- 2 阿蘇神社の復興工事の確認と宮司さんの歴史講話
- 3 阿蘇ミルクファクトリーで昼食とスイーツ体験 →
- 4 「日本リモナイト」での見学と実験
- 5 大観峰から「阿蘇五岳」と「千年の草原」の見学→

一日目の中心企画

新規追加と変更
二日目の中心企画
新規追加



この校外学習については、本校の場合、現在の9年生も8年生も宿泊体験ができておらず、この三年間は日帰りでの企画に変更していましたが、年々改良を加えてきました。今回も、「阿蘇のみりよく(魅力と味力)」を再発見し、体感する一日にしたいという7年部職員のこだわりが込められた企画でした。行程の最後に大観峰からの見学を入れたのも、阿蘇に暮らす私たちは、わざわざその場所から景色を眺める機会を持つことが少ないからこそ、あらためてその景観をじっくり見てほしかったのと、その風景を眺めながら、この一日の学習を振り返り、先人の暮らしが今の阿蘇の景観と文化を築いていることに思いをはせることが出来ればと思ったからでした。

子どもらが「阿蘇のみりよく(魅力・味力)」をどのように感じたのか、各ご家庭で話題にさせていただきたくとありがたいです。

ただ、今回の企画に関しては学校としての反省点もあります。それは、計画変更の詳細な連絡が、ご家庭に対して事前に周知できていなかったことです。このことについては、今後の改善につないでいくことが必要だと考えています。今後も様々な行事が続きます。いずれもコロナ禍での実施であり、各ご家庭や地域の皆様方のご理解とご支援を改めてお願いいたします。

